

令和5年度 教育行政執行方針

教育環境の整備

小・中学校の部活動の地域移行

少子化により、学校単位での部活動の維持が困難になることが予想されるため、関係機関と協議しながら地域協議会の設置に向けた取り組みを進めます。

教職員の働き方改革

校務支援システムを積極的に活用し、事務作業の時間短縮を図るとともに、時間外在校等時間*を公表するなど働き方の見える化を推進し、教職員の負担軽減や長時間勤務の解消に努めます。 *在校時間から正規の勤務時間(7時間45分)を引いた時間

知識、教養、実践力の育成

個別最適な学びと協働的な学び

各学年で身につけるべきICTスキルを示す一覧表を基に、1人1台端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進します。

家庭での学習習慣の定着と学力向上

家庭学習強化週間の取り組みを継続するほか、オンライン学習システムなどデジタル教材を活用し、学力の向上を図ります。



滝川西高等学校

ICT機器等の拡充

体育館への大型電動スクリーンの設置や音響設備の改修など、教育環境の整備に努めます。

英語教育・国際理解教育

外国語指導助手を2人配置し、英語でのコミュニケーション能力の向上を図ります。また、姉妹校のロングメドー高校と交流提携校のヴィトフェルスカ高校との交流を継続しながら、短期留学の再開に向け情報収集・調整を進めます。

多様な教育ニーズへの対応

いじめの防止対策

相談体制を充実させ、SNSなどネット上のいじめの未然防止と早期発見・対応に努めます。絆づくり成果交流会を開催し、いじめ撲滅に向けた生徒の主体的な活動を支援します。

不登校児童生徒への支援

不登校児童生徒の学びの機会を広げるため、自宅にいながらオンライン型のフリースクールに通える仕組み作りなど、新たな支援策について検討を進めます。

スポーツの振興

施設的环境整備

老朽化する各スポーツ施設の改修方針について検討を進めるほか、民間事業者が再開準備を進めている温水プールについては、再開を要望する多くの声が寄せられたことから、市民の健康増進に必要な施設として利用環境の確保に努めます。

ノーマライゼーションの浸透

障がいの有無や性別、年齢を超え共有できるアダプテッドスポーツの出前講座を行うなど、共生社会に対する意識の向上を図ります。



社会教育環境の充実

図書館開館50周年

開館からの歩みを記した記念誌を作成します。また、「どこでもドクショ」など本を提供する取り組みの拡充を図るほか、調べる学習コンクールなど各種事業を実施します。

美術自然史館・特別展

日本画家・岩橋英遠生誕120年を記念し、特別展「虹の記憶～生誕120年 岩橋英遠」を開催します。英遠が追求した変わらぬ自然と変わりゆく自然の芸術世界を紹介します。



青少年健全育成事業

情報モラル教育

子どもがスマートフォンに触れる時間が増え、全国的にもSNSを通じたトラブルが多様化、深刻化していることから、総務省が推進するe-ネットキャラバンを活用した外部講師による啓発活動を実施するほか、乳幼児健診時に保護者向けの啓発文書を配付するなど、地域や企業、学校と連携を図りながら啓発活動に取り組めます。



滝川市長 前田 康吉

住みたい・住み続けたい 「ちようどいい田舎滝川」

新型コロナウイルス感染症が5類感染症となりましたが、いまだ終息には至らず、市民生活や経済に与えた影響は少なくありません。まずは、喫緊の課題である、物価高・エネルギー高騰などに対し、国や北海道の支援の動きを注視しながら、市民生活を守るための取り組みを進めて参ります。

一方で、全国的に人口減少に歯止めが効かない中、本市としましても人口減少を最大限抑え、持続可能なまちづくりを進めていかなければなりません。そのために、安心して子どもを育て、誰もが安全に生活できる環境が大切であると考えます。本年度から中学生以下の医療費無償化を実施するなど、子育て支援を拡充させてきましたが、引き続き、子育て環境の充実に向けて検討を進めて参ります。

また、滝川駅周辺の環境整備、公共施設の再編などの取り組みを進め、新たな都市機能の形成やにぎわいを創出し、まちの魅力を上昇させていきたいと考えております。

加えて、本年度は滝川市総合計画をはじめ、立地適正化計画、公共施設個別施設計画の初年度となります。まちづくりの指針となる各計画を着実に実行し、住みたい・住み続けたい「ちようどいい田舎滝川」の実現に向け、新たな「11+1(イレブン・プラス・ワン)」の政策を掲げ、「チーム滝川」としての意識をもって職員と一丸となり全力で取り組んで参ります。



滝川市教育委員会 教育長 田中 嘉樹

「自立型人材の育成」と 「誰もが学び続けることができる 共生社会の実現」

不登校の増加など、教育を取り巻く課題は多様化・複雑化しており、予測困難な時代を多様な他者と協働しながら、たくましく生き抜く人材の育成が求められています。

学校教育においては、ICTを効果的に活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を着実に進めるとともに道徳教育の充実による豊かな心の育成や健康的な生活の基盤となる体力・運動能力の向上など、持続可能な社会の創り手としての資質・能力を育むことが重要です。

さらに、いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題や、部活動の地域移行などの今日的課題に、すべての教育関係者が連携して取り組まなければなりません。

また、市民一人ひとりが自らの個性や能力を生かしながら社会活動に参画するとともに、誰もが生涯にわたり学び続けることができる環境の構築が求められています。

市政執行方針・教育行政執行方針の全文については、市立図書館(市役所2階)行政資料コーナーや江部乙支所で閲覧できるほか、市公式ホームページからもご覧になれます。

<p>市政執行方針</p>	<p>市公式ホームページ→組織案内 →企画課→「市政執行方針・予算大綱」</p> 	<p>【問合せ】企画課 Tel.28-8004</p>
<p>教育行政執行方針</p>	<p>市公式ホームページ→滝川市教育委員会 →「教育行政執行方針」</p> 	<p>【問合せ】教育委員会 Tel.28-8042</p>